

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分		実績	
整理番号	27	課題区分	C
実施機関	北アルプス地域振興局		
事業名	スノーリゾート誘客促進地域連携事業	担当課	所属 商工観光課
			電話 0261-23-6523(直) E-mail kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	北陸新幹線の敦賀延伸(将来的には大阪延伸)を見据え、主に関西方面からの冬季観光客の集客を目的とする新たな旅行商品の造成を促進するため、JR西日本の商品企画担当者等を対象に、地域の魅力を理解してもらうための現地視察研修会を開催する。	
	現状と課題	当地域におけるスキー場利用者数は、外国人スキー客が急増する一方で、国内のスキー人口の減少に歯止めがかからず、いわば「インバウンド頼み」の現状となっている。インバウンド客に選ばれる観光地域づくりの推進に偏りすぎず、国内向けの誘客活動もバランス良く展開していくことは重要な視点となっている。	
	内容 (変更後の内容)	<p>「スノーリゾート受入観光地協議会」(※)との共催により、関西圏において旅行商品造成に携わるJR西日本の担当者・旅行情報を扱うメディア担当者等11名を1泊2日の行程で当エリアに招聘し、当地域の魅力に直接的に触れてもらう機会を設ける。</p> <p>(案内先)「スノーアクティビティ体験」(Hakuba47 ウィンタースポーツパーク隣接 河川敷) 「Hakuba Mountain Beach」(八方尾根スキー場) 「WOW!」(拇池高原スキー場)</p> <p>(※)北陸新幹線の開業にあわせ、長野・新潟両県にまたがるスノーリゾートエリアの市町村・観光団体等を主な構成員として平成28年5月に設立。JR西日本が企画する事業に対する受入観光地の窓口としての機能を有するほか、JR西日本及び各旅行会社等と連携して国内旅行者向けのスノーリゾート商品の企画、情報発信事業に取り組む組織。</p>	
	事業期間	令和2年1月16日 ~ 令和2年1月17日	
	成果目標 (成果指標)	・北陸新幹線を利用したJR Snow Resort旅行商品による信越スノーリゾートエリアへの送客数 2019.12-2020.03目標 8,100席 【参考】去年同期(7,400席)比の1割増	
事業費等	(単位:円)		
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額
	現地研修会	・バス借り上げ料	126,500
	合 計		126,500
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価
	関西圏の大手旅行会社で、主に窓口業務に携わる担当者や旅行情報を取り扱うメディア関係者延べ9名を当地域の観光スポットに案内した。 ・「スノーアクティビティ体験」(Hakuba47 ウィンタースポーツパーク隣接 河川敷) ・「Hakuba Mountain Beach」(八方尾根スキー場) ・「WOW!」(拇池高原スキー場) ・雪遊びパーク(白馬コルチナススキー場)	各旅行代理店の窓口担当者に、当地域の主要な観光スポットの現場を直接訪問していただくことで、今後の円滑なご案内、一層の誘客の促進につなげることができた。 なお、令和2年3月末の段階で、雪不足・新型コロナウイルス感染症等の影響により、成果指標の達成は極めて厳しい状況となっている。(確定値の把握は令和2年6月頃となる見込み)	<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	旅行会社と受入観光施設との間で、担当者どおし顔が見える関係を構築できたことを活かし、更なる誘客促進につなげていく。		